

すべてを楽しむアメリカ人

坂本 聖（高校2年）

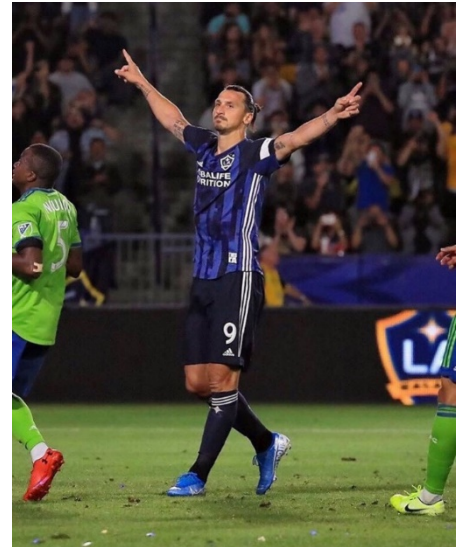
僕が今回のトーランス派遣で一番興味を持ったことは、スポーツについてです。アメリカといえばやはりスポーツ大国。MLB や NBA など世界最高峰の野球とバスケットボールのリーグがあり、スポーツが盛んな国です。また、MLS というサッカーのリーグもあり、最近では 2007 年に元イングランド代表のデイヴィッド・ベッカム、2018 年に元スウェーデン代表のズラタン・イブラヒモヴィッチがロサンゼルス・ギャラクシーに、2018 年に元イングランド代表のウェイン・ルーニーが D.C.ユナイテッドに移籍するなど、ヨーロッパで活躍した選手が MLS でプレーすることによってアメリカのサッカーを盛り上げています。そんなスポーツ大国のアメリカで、野球とサッカーの試合を観戦することができたことが至上の喜びです。また、日本とアメリカではスポーツでも違いがありました。

まず、身体能力が高いので日本では見られないスーパープレーを期待していましたが、僕の想像を超えた数々の華麗なプレーに度肝を抜かれて思わず叫びました。ファンが熱狂するのがよくわかりました。

次にアウェーチームに対する洗礼が、あまりにもすごくて選手がかわいそうに思えるほどでした。野球の試合では、アウェーチームのピッチャーのカウントが 3 ボールになると場内の電光掲示板に「three ball」と表示されたり、「make some noise」と表示されみんなで叫んだりブーイングをしたりして、相手ピッチャーに対して過剰とってしまうほどプレッシャーをかけていたのが強く印象に残りました。また、アウェーチームがホームランを放った時は、リプレイ動画が一切流れずブーイングを浴びながらホームに走っていく姿を見て、海外でスポーツするには強靭なメンタルを必要とすることがよくわかりました。サッカーの試合では選手だけではなく審判に対してもブーイングを浴びせる場面もありました。アメリカ人は試合を楽しむとともにブーイングさえも楽しんでいて、すべてにおいてエネルギーで、圧倒されました。

このようなことから、サッカー日本代表がアウェーの地で勝利することがいかに大変なことか身に染みてわかりました。また、気候や文化など環境の違う海外のリーグでプレーしている日本人のメンタルの強さと技術の高さに驚愕しました。

右の写真は僕が試合を観戦したロサンゼルス・ギャラクシーの絶対的エース、元スウェーデン代表のズラタン・イブラヒモヴィッチ選手です。今シーズン 13 得点で MLS の得点ランキング 3 位をマークしています。僕が試合を観戦した時にも、クロスからヘディングで合わせて 1 点とペナルティキックで 1 点の合計 2 点を目の前で決めてくれました。世界で活躍するスーパースターが目の前で！しかも 2 点も！決めてくれたので興奮を抑え切れず思わず立ち上がってホストファミリーと抱き合ったほどです。



このトーランス派遣を通して物事に対する価値観が変わり、アメリカのスケールの大きさに驚くばかりでした。トーランスに行ったことにより見聞が広がり二回りくらい成長したように思います。学生時代に海外に行くことが重要だと思いました。

最後になりましたが、今回のトーランス派遣に携わってくださった KIRA、TSCA の皆様、そしてサポートしてくださったすべての方々に感謝しています。貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。